

こんにちは！

村立東海病院です



特定ケア看護師を紹介します

近年、医療の現場でも「働き方改革」が進んでおり、病院内でもスタッフがより良い医療を提供できる体制づくりが求められています。当院でも、医師・看護師やさまざまな専門職が協力をしながら、効率的かつ質の高い医療を提供するための取り組みを進めています。その中の一つが「タスクシフト・タスクシェア」と呼ばれるものです。これは、主に医師だけが行っていた一部の医療行為を、専門の研修を受けた看護師が実施できるようにすることで、医療チーム全体の力を高めようという考え方です。そして、このような役割を担うのが「特定ケア看護師」です。

【特定ケア看護師とは？】

国の定めた研修を修了し、特定の医療行為を行うことができる看護師のことです。たとえば、動脈からの採血、点滴の内容調整、人工呼吸器の設定変更、末梢留置型中心静脈カテーテルの挿入など、これまで医師が行っていた高度な処置を、医師の指示に基づいて行うことができます。

さらに、こうした医療技術だけでなく、患者さんの状態の診かたや検査結果の読み方、症状から考えられる病気の知識など、医学的な視点も学んでいます。「医師のように診る力」と「看護師としての見る力」の両方を併せ持つのが、特定ケア看護師の大きな特徴です。

【円滑な連携を支える存在】

当院では、特定ケア看護師が病棟に所属しながら、外来や救急、他の部署なども横断的にサポートしています。医師が外来や手術で病棟を離れている時間帯でも、特定ケア看護師が患者さんの状態を確認したり、看護師や他のスタッフからの相談に応じたりしています。

また、患者さんと医師、あるいは医師と看護師の間で必要な情報を分かりやすく伝える“橋渡し役”としても活躍しており、医療チームの円滑な連携を支える存在です。

【緑のユニフォーム・バッジが目印です！】

当院の特定ケア看護師は、緑色のユニフォームを着て、専用のバッジをつけて活動しています。外来や入院で見かけた際は、気軽にお声がけください。



地域の皆さんにより安全で安心できる医療を提供するため、特定ケア看護師も日々努力していきます。これからも、どうぞよろしくお願いいたします。

村立東海病院特定ケア看護師 海老澤匠

【問い合わせ】村立東海病院(☎282-2188)、地域福祉課地域福祉・地域医療推進担当(☎282-1711 内線1132)